



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 85 号

2011.2.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつかっています。

も く じ

おしらせ

- ー スタッフ紹介
- ー 『よしわの動物ガイド』出版のお知らせ
- ー 観察会中止の報告

活動報告

- ー 溝口のサンショウウオ
～北広島町学術調査結果から～
- ー 八幡のサンショウウオと魚たち
～北広島町学術調査結果から～

観察会案内

- ー かんじきで歩こう！雪の八幡高原
- ー 雪原のトレッキング

お し ら せ

● スタッフ紹介

2011年の高原の自然館のスタッフを紹介しま
す。新しくスタッフが加わり、4名での体制となり
ました。自然に関する疑問や質問などありましたら、
お気軽に声をおかけ下さい。冬期は芸北支所二階の
研究室にて勤務しています。

学芸員：白川勝信

研究員：内藤順一

西中国山地自然史研究会事務局：奥山秀輝、河野弥生

● 『よしわの動物ガイド』出版のお知らせ

西中国山地の西部に位置する吉和地域の動物をま
とめた「よしわの動物ガイド」が発行されましたの
でお知らせします。暮らしに身近な動物から貴重な
絶滅危惧動物まで、オールカラーの写真と詳しい解
説つきです。西中国山地自然史研究会の観察会でも
おなじみの内藤順一先生と上野吉雄先生も執筆され
ています。ご購入希望の方は西中国山地自然史研究
会事務局までお申し込みください。

【書名】 よしわの動物ガイド

【編集】 「よしわまなびの森」資料検討委員会動物部会

【発行】 「よしわまなびの森」

【体裁】 A5判 / 232頁

【定価】 2300円

● 観察会中止の報告

1月16日に予定していた観察会“冬を生きる動
物たちの生態”は悪天候のため中止となりました。

観 察 会 報 告

●溝口のサンショウウオ ～北広島町学術調査結果から～

開催日時:2011年1月19日(水)19:00
講師:内藤順一

北広島町溝口地区の美和東文化センターで、内藤順一先生による「溝口地区に生息するサンショウウオ類」と題した講座が開催されました。参加者は20人で地元住民が大半でしたが、廿日市市からの参加もあり、サンショウウオに対する関心の高さがうかがえました。

サンショウウオの分類のお話から始まりました。オオサンショウウオは日本固有種で、国の特別天然記念物に指定されていること、小型のサンショウウオ類は種が多く、また、日本固有種であること、日本では13種生息しており、その中でも北広島町や溝口地区ではどの種が生息しているかという詳しいお話がありました。

北広島町で確認されたサンショウウオ類(カスミサンショウウオ・ブチサンショウウオ・ヒダサンショウウオ・ハコネサンショウウオ・オオサンショウウオ)については、内藤先生がその場所を地図上で示し、生息環境を写真で説明されました。また、それぞれのサンショウウオの写真や産卵場所、産卵時期についての説明もありました。参加者から「溝口を流れる丁川(よろがわ)では、近年オオサンショウウオの数が増えたようだ」との話がありましたが、内藤先生によると、「幼生がいないと将来にわたって生息するものとはいきれないので、安心することはできない」とのことでした。

サンショウウオの生息は、自然環境を計るうえでの尺度でもあり、多様な環境によって種が支えられていることが分かった講座でした。

[しもすぎたかし]



雪の中、地域の方たちが集まった。



熱心に語る内藤先生。



止水域に生息する小型のサンショウウオ「カスミサンショウウオ」。

観 察 会 報 告

●八幡のサンショウウオと魚たち ～北広島町学術調査結果から～

日時:2011年1月20日(木) 19:00

講師:内藤順一

今年は記録的な大雪となりました。積雪量が多く、今回の勉強会の準備はまず建物への道を作る雪堀りからです。雪を掘ったり、冷えきった会場を暖めているうちに、小学生・中学生をはじめ、さまざまな年代の方19名の参加者が集まってくださいました。北広島町の生物調査を35年間続けておられる内藤順一先生が今回の講師です。

内藤先生は水辺のいきものが専門ということで、八幡の川に生息するゴギ、サツキマス、八幡の湿地に生息するスナヤツメ、サンショウウオ類、カエル類のお話をされました。ゴギやサツキマスの産卵の映像では、身近な川の底で営まれている貴重な瞬間を皆で見守りました。また、日本初のスナヤツメの繁殖行動を撮った写真も見せていただきました。今では見るのが少なくなったスナヤツメですが、参加者から「昭和30年代には橋の下にたくさんいた」「自分が小学生の頃、夏休みに毎日見ていた」など、参加者から情報が寄せられ、内藤先生も熱心にメモをとっていました。調査状況を地図に記したのも提示され、内藤先生が北広島町を広範囲で調査されていることがわかりました。私たちの住む八幡は、標高が高く豊かな自然に囲まれています。生活の中でも生き物に関わる場面が多く感じます。

今回の勉強会で、「どんな生き物が、どんなところにすんでいて、どんな暮らしをしているのか」を知ることができ、水辺の生き物との向き合い方が少しわかったような気がしました。貴重な映像をたくさん見ることができたこと、また昔の八幡の様子を知ることができたことも大変な収穫でした。[このやよい]



八幡高原センターの入り口を掘る。



北広島町の地図を見ながら分布を確認。



内藤先生の著書である「太田川水族館」の紹介。

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● かんじきで歩こう！雪の八幡高原

開催日時：2011年2月7日(月) 10:00
※平日開催です。
集合場所：高原の自然館
準備：基本セット・スノーシュー、かんじきなど
かんじきレンタル：200円
定員数：30名
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

サンパチ豪雪以来の大雪！？とも言われる今シーズン。どのくらい積もっているのかを体感したり、雪の上での生き物の姿を見つけながら「おーいの丘」をめざして雪の八幡高原をお散歩しましょう。雪上を歩くことのできる服装でお越し下さい。スノーシューやかんじきが必要です。レンタルも可能です。天候によってコースなどの変更があります。あらかじめご了承ください。



● 雪原のトレッキング

開催日時：2011年2月20日(日) 10:00
集合場所：高原の自然館
講師：上野吉雄
準備：基本セット・スノーシュー、かんじきなど
かんじきレンタル：200円
定員数：30名
参加費：一般=300円 / 賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

真冬の八幡高原のトレッキングをしませんか？雪上を歩くためいつもより高い位置から景色をみることが出来ます。鳥の姿をみたり、いきものが残したサイン、冬の植物の姿とさまざまな視点で観察しましょう。歩きやすくあたたかな服装でご参加ください。



2011年は大雪とともに始まりました。昨年末に降った雪の水分が多く、がっちりと木や建物につき溶けにくい・あまり風が吹かず溶けにくい・・・などと例年との違いを教えてもらいました。確かに屋根の雪は降り落ちないし、雪の重みに耐えられないためか倒木が多いです。一方スキー場にとっては恵みの雪のようでもあり、雪に笑い雪に泣くシーズンとなりました。春が来たときの喜びはひとしおだろうなあと思ひながら2月を迎えました.. (この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info